

ラジオ高崎開局20周年記念展覧会

山田かまち (1960-1977) あふれるエネルギーと感性「生きる」

山田かまち

YAMADA KAMACHI

2017.10.7sat - 10.15 sun

10:00 - 19:00

高崎シティギャラリー

第1展示室

会期中無休 / 入場無料

主催：ラジオ高崎

共催：高崎アートインキュベーション推進会議、高崎財団

特別協賛：株式会社群成舎

協力：高崎市山田かまち美術館、高崎市美術館

問い合わせ：ラジオ高崎 tel:027-322-5555 / fax:027-322-8000

山田かまち YAMADA KAMACHI

あふれるエネルギーと感性「生きる」

山田かまちは群馬県高崎市に生まれ育ち、高校1年生だった1977年8月、エレキギターの練習中に感電事故のため17歳と20日という短い生涯を終えました。亡くなった後、彼の部屋からおびたしい数の水彩画やデッサン、詩や散文や絵を書いたノートなどがみつき、そこに描き綴られた思春期の想い、純粋な心の叫びは残された人々に大きな衝撃を与えました。

1992年に高崎市内にオープンした「山田かまち水彩デッサン美術館」が全国紙で紹介されたのに続き、東京など各地で開催された「山田かまち展」をとおして多くの人々が彼の絵や詩、生き様に心を揺さぶられて全国的な「かまち現象」が巻き起こります。高校の教科書などにも彼の絵や詩が掲載され、若者たちに大きな影響を与えました。2014年4月には高崎市山田かまち美術館がリニューアルオープンし、今も色あせることのないかまちの想像力と表現力に、人々は魅了されています。

この展覧会では、かまちの水彩画、クレヨン画、原筆のノート、生前の愛用品などを展示し、永遠の少年・山田かまちの魅力をさまざまな角度からご紹介いたします。



山田かまち 1977年(撮影)



《水牛》墨、水彩、紙 1969年



《木と月》水彩



《トブラーモカ》クレヨン、ペン



《告白》鉛筆、紙



《逃げる女》水彩、紙



《ブリーズ・ミスター・ポストマン》水彩、鉛筆、紙 1975年



高崎シティギャラリー
会期中無休 / 入場無料
〒370-0829 群馬県高崎市高松町35-1
tel: 027-328-5050 / fax: 027-328-3191



CD発売中

山田かまちの詩「生きる」加藤登紀子

定価 ¥1,500+税

発売元 TOKIKO RECORDS

製作 高崎音楽祭、ラジオ高崎

主催



RADIO TAKASAKI
JOZZ3AQ-FM TAKASAKI FM76.2MHz STEREO

特別協賛



群成舎

おかげさまで創業60周年